

(3) セミナー、座学

第1回 座学	
日 時	2015 年 6 月 6 日
講師	株式会社 WA・ON 代表 飯田和子
開催場所	彩アグリカルチャークラブ
参加人数	25 人
実施内容	食育について
実施風景	

第2回 座学	
日 時	2015 年 7 月 1 日
講師	スパイスアドバイザー 加藤義政
開催場所	片柳コミュニティセンター
参加人数	16 人
実施内容	思い出の味（おふくろの味）で身体と心の健康づくり
実施風景	

第1回 セミナー	
日 時	2015 年 6 月 7 日
講師	栄養士、農業者 栗原捷興
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	9 人
実施内容	羽釜を使ってのわら炊きご飯
実施風景	

第2回 セミナー	
日 時	2015 年 7 月 12 日
講師	NPO 法人 オリザネット
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	28 人
実施内容	田んぼの除草と生き物しらべ
実施風景	

第3回 セミナー	
日 時	2015 年 7 月 12 日
講師	野菜ソムリエ 小林倫子
開催場所	久楽里
参加人数	19 人
実施内容	ブルーベリー収穫とジャムづくり
実施風景	 

第4回 セミナー	
日 時	2015 年 8 月 9 日
講師	染色家 保科敏夫
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	21 人
実施内容	野菜を無駄なく使って染物教室
実施風景	 

第5回 セミナー	
日 時	2015 年 10 月 4 日
講師	大工 萩原幸夫
開催場所	彩アグリカルチャークラブ
参加人数	22 人
実施内容	釜戸づくり
実施風景	 

第6回 セミナー	
日 時	2015 年 10 月 24 日
講師	栄養士、農業者 栗原捷興
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	38 人
実施内容	親子で挑戦、わら炊きご飯
実施風景	

第7回 セミナー	
日 時	2015 年 12 月 12 日
講師	野菜ソムリエ 小林倫子
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	31 人
実施内容	クリスマスに飾ろう、フルーツカッティング教室 (一回目子供 17 名、二回目大人 14 名)
実施風景	 

第8回 セミナー	
日 時	2015 年 12 月 19 日
講師	東京電機大学 大学院 客員教授 日鼻宏一
開催場所	諏訪野
参加人数	16 人
実施内容	食（農）：賢い豊かさへの選択（食を取り巻く環境）
実施風景	

第 9 回 セミナー		
日 時	2015 年 1 月 17 日	
講 師	小清水正美	
開催場所	さいたま市立美園コミュニティセンター	
参加人数	19 人	
実施内容	ピクルスの作り方と保存食の基礎	
実施風景		
		

第 10 回 セミナー	
日 時	2015 年 2 月 20 日
講 師	小清水正美
開 催 場 所	さいたま市立美園コミュニティセンター
参 加 人 数	24 人
実 施 内 容	おいしい味噌の作り方
実 施 風 景	 

第 11 回 セミナー	
日 時	2015 年 3 月 13 日
講師	農かがく
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	13 人
実施内容	野菜の実験教室（農かがく教室） 酵素ロケットを飛ばそう
実施風景	 

(4) 出前授業

第 1 回 出前授業	
日 時	2015 年 10 月 20 日
開催場所	さいたま市立本太小学校
参加人数	158 人
実施内容	収穫したお米でわらを使ったごはん炊き体験
実施風景	 

第 2 回 出前授業	
日 時	2015 年 10 月 30 日
講師	新宿調理師専門学校 学校長 上神田梅夫
開催場所	さいたま市立野田小学校
参加人数	22 人
実施内容	育てた里芋を使っの調理実習
実施風景	 

第3回 出前授業	
日 時	2015 年 11 月 9 日
講師	学習院女子大学 教授 品川明
開催場所	さいたま市立岩槻小学校
参加人数	86 人
実施内容	里芋を使った料理
実施風景	 

第4回 出前授業	
日 時	2015 年 11 月 12 日
講師	野菜ソムリエ 小林倫子
開催場所	さいたま市立尾間木中学校特別支援学級
参加人数	6 人
実施内容	里芋を使った料理
実施風景	 

(5) 加工体験

第1回 加工体験	
日 時	2015 年 12 月 8 日
開催場所	さいたま市南区大谷口、宮崎会館
参加人数	34 人
実施内容	味噌造り体験
実施風景	

第2回 加工体験	
日 時	2015 年 12 月 12 日
講師	栄養士 栗原捷興
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	38 人
実施内容	もちつきとのし餅づくり
実施風景	 

第 3 回 加工体験	
日 時	2015 年 2 月 11 日
開催場所	のらり
参加人数	19 人
実施内容	味噌づくり体験
実施風景	

第 4 回 加工体験	
日 時	2015 年 2 月 13 日
開催場所	のらり
参加人数	16 人
実施内容	味噌づくり体験
実施風景	

第 5 回 加工体験	
日 時	2015 年 2 月 28 日
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	18 人
実施内容	親子で作る味噌づくり
実施風景	

第 6 回 加工体験	
日 時	2015 年 3 月 12 日
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	31 人
実施内容	親子味噌づくり教室
実施風景	

(6) 地域資源調査

第 1 回 地域資源調査	
日 時	2015 年 11 月 18 日
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	2 人
実施内容	見沼地域の食文化の聞き取り調査

第 2 回 地域資源調査	
日 時	2015 年 12 月 2 日
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	3 人
実施内容	当地区の特産品である“くわい”の郷土料理の再現

(7) バス視察

第 1 回 視察研修	
日 時	2015 年 8 月 1 日
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	43 人
実施内容	漁業体験
実施風景	 

第 2 回 視察研修	
日 時	2015 年 3 月 4 日
講師	奥多野 GT 協議会
開催場所	ファーム・インさぎ山
参加人数	11 人
実施内容	灰汁でつくるこんにゃくづくり
実施風景	

(8) シンポジウム

食育フォーラム	
日 時	2015 年 1 月 23 日
開催場所	上野田農村センター
参加人数	84 人
実施内容	題目「これからの子や孫のために、食と健康について」
実施風景	 

Ⅲ. 事業成果物

1. 見沼のおすそわけ



ふき味噌

◎ 材料【作りやすい分量】
ふきのとう……300g
ごま油……大さじ1
a 味噌……100g
酒……大さじ1
砂糖……大さじ2
みりん……大さじ1

◎ 作り方
1. ふきのとうはみじん切りにする。
2. 鍋にごま油を熱し、ふきのとうを炒める。
a 味噌を加え、木ベラで練りながら混ぜ合わせる。水分がなくなったら火を止める。



きやらぶき

昔から定番の常備菜です。
いっぱい煮て小分けにして、
冷凍しておきますと長期間食
べられます。

◎ 材料【作りやすい分量】
ふき（葉を除いたもの）……500g
だし汁……3カップ
a 醤油……1/2カップ
みりん……1/2カップ
赤唐辛子……1本

◎ 作り方
1. 葉を取り除いたふきの茎をタワシで良く洗い、4cm位の長さ
に切る。
2. 鍋にたっぷりのお湯をわかし、ふきを入れ、茹で上げたら
水にさらす。
3. 水切りしたふきを鍋に戻し、だし汁とaの調味料を入れ、
煮たったら弱火にして時々混ぜながら煮る。汁気がな
くなるまで火をつけたり、消したりしながらゆっくり煮る。
好みで途中から赤唐辛子を入れてもよい。



2. ホームページ改修

1. Wordpress（ブログシステム）の導入

Wordpress というブログシステムを導入することで、ホームページの更新を業者に依頼することなく、自分で行うことができます。

2. 問い合わせフォームの導入

問い合わせフォームに関する機能を充実することで、ユーザに対する問い合わせ業務を簡素化または自動します。

21. プログラムごとの問い合わせフォーム

プログラムごとの問い合わせフォームを用意することで、ユーザが必要な項目だけ入力することができます。

22. 入力内容確認機能（リアルバリデーション機能）

「必須入力」が入力されていない場合などに、ページ遷移をすることなくアラートを表示します。 また入力形式が異なる場合（例：メールアドレスに@がない）などにもアラートを表示します。

23. メールによる自動返信機能

ユーザから問い合わせがあった際に、そのユーザへ確認メールを自動で送信します。 またそのメールアドレスは独自ドメイン(@farmin-sagiyama.com)を使用することで、組織としての信頼性を高めています。

24. オンライン表計算ソフト（スプレッドシート）

ユーザからの問い合わせを簡単に管理するために、Google スプレッドシートという Excel のようなものに問い合わせ内容を保管します。 Excel と非常に似ているため、管理の手順を新たに覚える必要がありません。

25. メールマガジン

メールマガジンへの登録フォームも追加しました。 ユーザが必要としている情報を効率よく伝えるために、登録時にどのプログラムに興味があるかを入力してもらいます。

3. サイト分析ツール（アナリティクス）の導入

サイトにどれぐらいの人に見られているかという指標を閲覧することができます。Google アナリティクスというサービスを利用していますが、そのサイトに移動せずに管理画面からも指標を確認することができます。

4. ソーシャル・ネットワークの導入

Facebook や Twitter 等のソーシャル・ネットワーク (SNS) と連動しています。こういった SNS の更新情報をサイト上からも見ることもできます。また更新作業の手間を削減するために、Facebook へ投稿した際に Twitter へも自動で投稿します。

5. スケジュール表示機能の導入

各プログラムの予定をサイト上から閲覧することができます。

